

2020年3月15日

No. 87 「沖縄遠征と私の空手修行」

三田空手会の有志による沖縄遠征が、2月29日、3月1日に実施された。「沖縄伝統空手道振興会」と本塾空手部は、伝統を守り継承している同志として交流をはじめ、2010年12月に第1回交流演武会を実施。沖縄県が「沖縄空手会館」建設のため、本州の空手の歴史調査に伴い、沖縄県観光スポーツ部空手課との交流も開始された。三田空手会は、2017年3月には「沖縄空手会館竣工式」招待参列と、道場竣工のこけらおとして、2回目の交流演武会も実施された。今回は3回目となる。



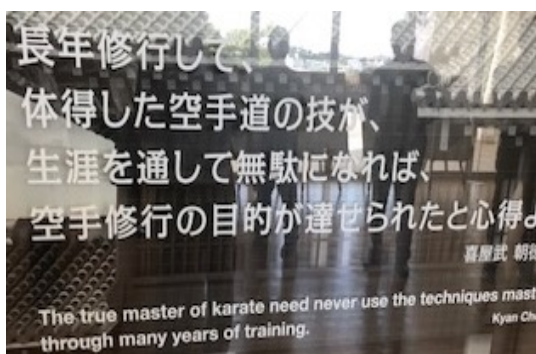
仁井団長より、「首里城義援金の書簡贈呈（三田空手会から10万）」がなされた

沖縄県庁空手課の山川課長のアレンジで、空手道会館、沖縄市内の拳聖ゆかりの地に祀られている石碑を訪ねて、沖縄空手の歴史を勉強する。そして2月29日の夜は、沖縄空手の道場を訪問し、地元の先生、高弟の方からご指導を頂く。今回は、沖縄少林流志道館無聲塾（真栄城守信先生の道場）をご紹介頂く2日間の旅程。

空港に到着して、沖縄空手課山川課長、仲村主査の出迎えを受けた。近代空手の祖でもあり、1924年に慶應大学に日本で最初の空手部を作り、師範としてお迎えした船越義珍先生の顕彰碑、並びに有名な「空手に先手無し」の石碑を訪れた。



空手道会館は、沖縄伝統空手を独自の文化として保存・継承・発展させることを目的に、2017年に開館された。事業費は約65億円。敷地面積は3.8ヘクタール、延べ床面積は7810平方メートル。施設内は道場のほかにも展示施設やショップ・飲食店も設置されており、空手関係者だけでなく一般の人や観光客も利用できる。



到着の夜は、真栄城守信先生の道場を訪問。2 人の高弟の方が参加された。先生は、御歳（おんとし）74 歳。私が勉強したかった「夫婦手」の技法を披露して頂いた。いつも笑顔でニコニコ顔。高弟（8 段）との組手では、高弟の方が「押されてしまう」と言って、後ずさりしていた。「生涯空手修行しても、空手の修行が無駄になる人生の方」の様だ。近々アルゼンチンに指導に行かれると言っていた。その夜は、居酒屋で「泡盛」を頂きながら、大いに盛り上がった。



2 日目も空手関係の記念碑巡りをして、皆さんは帰京したが、私は更に 4 日間沖縄に留まり、沖縄の友人、他流派の道場を訪問した。



沖縄空手は、昔は道場を開いて入門者を募集するのではなく、入門を許された者だけが、先生の自宅を訪問し指導を受けていた。1900年代の初頭、沖縄師範学校で空手を習った、先生の卵たちが沖縄全島に赴任をして空手を広めた。本土に空手が紹介されたのは、1922年船越義珍先生によってもたらされた。1924年慶應大学に日本で最初の空手部が作られ、その後東京6大学から全国の大学に広まった。日本での空手の興隆を見て、松濤館流以外の糸東流、剛柔流の先生が関西を中心に空手指導を始めた。

海外には、主として拓殖大学のOBが創立した日本空手協会の指導員が、徒手空拳の様な状態から海外に普及させた。アメリカへは沖縄統治時代に空手を習ったアメリカ兵が、帰国してKARATEを広めた。沖縄の道場も海外に沢山支部を持っているが、沖縄からの指導員が赴いて普及させている。最近ではDVDを見て入門、支部開設の要望があると聞いた。



沖縄師範学校跡碑



師範学校で空手を学んだ先生が全島で指導

人類が生まれてから、人間同士の争いは絶えなかった。従って東西を問わず 何らかの格闘術は生まれている。シランバム（インド）、モンゴル相撲（モンゴル）、テッキョン（朝鮮）、ムエタイ（タイ）、シラット（インドネシア）シラカン（フィリッピン）等。現在空手は全世界で1億人が愛好している。サッカー、クリケット、バスケットボールに次いで4番目である。何故か？

ある海外の空手愛好者は「武道から瞑想状態が得られるから」と話す。瞑想はストレスを軽減したり集中力を高めたりするものとして米国で広く浸透している。米国人にとって空手は単なる格闘技としてだけでなく、精神面も鍛えられるツールとして知られるという。「空手は米国多数の子供たちが今最も熱中しているものの一つ」と話す。海外に存在する格闘技がローカルに止まっているのに対して、空手を含め日本の武道には「道」を極めると言う、奥深さがある為かもしれない。



沖縄に来た空手愛好者が情報交換する DOJO B A R



素人でも参加できる試割り体験

沖縄の旅行会社「Ageshio Japan」（那覇市）によると、空手のツアー参加者は上位を米国や欧州からの訪問者が占める。この会社によると「海外からの人気は日に日に高まっており、19年度の売上高は前年比3倍以上を見込んでいる」と話す。空手は沖縄の文化遺産で沖縄経済を支えている。守礼堂と言う武道具販売店は、マレーシアにも販路を広げている。それ以外の海外にも進出している地元の優良企業。



ギネスブックに登録された空手家 3973 人による空手デモ（2016 年 10 月 23 日）於：国際通り

三田空手会の有志が帰京した翌日、私は沖縄県庁の空手課の山川課長を尋ねた。県庁の空手課は、知事直轄で外国女性も含め 20 人近くの大所帯。沖縄の空手道・古武道の企画、調整及び推進を統括している。空手課には、2 年前に日本武道団の演武でマレーシアに来られた、沖縄古武道剛柔流の蔵元師範が勤務されていてご挨拶をした。



沖縄県庁の前で



蔵元師範



山川課長

県庁前の沖縄そば屋で

沖縄には、通産省のビジネススクールの同期生が居て、上地流の空手を習っている。上地流の道場を訪問した。上地流は、本土ではあまり聞かれない流派だが、沖縄を代表する流派の一つであり、上地完文翁によって創設された。今回訪問した新城先生は、沖縄空手道連盟の副会長で上地流九段。

1897 年、上地完文は福建省福州に渡航。パンガイヌーン拳法の達人に師事。1904 年パンガイヌーン拳法の免許皆伝。その後上地完文の長子である上地完英が沖縄県名護市に道場を開設し、沖縄に上地流誕生。現実的な実戦などを大きく想定した型が多く、一撃必殺の強さを持つと言われている。その激しい修練から、「他の流派では、バットを叩いて折るが、上地流はバットで叩くとバットの方が折れる」と評される。5 時半から子供の稽古を見学し、8 時から大人の稽古になった時に、途中で有段者に稽古を任せて、居酒屋で歓談した。



お礼のメールを入れると「初対面でしたが、空手を通しての、ご意見や人生訓等々楽しい時間を過ごす事が出来ました」と返事を頂いた。又お会いしたいと思った。

もう一つの道場は、沖縄市嘉手納基地のすぐ横にある、沖縄剛柔流拳武館 久場良雄先生の道場。久場先生は、沖縄空手道連合会副会長で十段。モーリシャスにも支部があり、2017 年私がモーリシャスを訪問した時に、拳武館道場も訪問した。昨年 5 回剛柔流世界大会が、マレーシアで開催され、モーリシャスチームも参加。



久場先生の道場 昨年 11 月マレーシアでの世界大会に参加したモーリシャスチームと会食



2017年モーリシャス空手道連盟と拳武館支部合同のセミナー開催

松下電器空手道連盟の大阪地区には、剛柔流を習っている者が多く、何度も形を見たことはあったし、試合をしても負けた事が無かったので、関心も無かった。マレーシアから帰国して、三田空手会の若手（40歳代）と組手をして、スピードとパワーに圧された。その後1ヶ月間ジムに通って体を鍛えて、神奈川県警本部道場で組手をして、まだいけると感じた。今回、久場先生に2時間ミッチリ、懇切丁寧に教えて頂き、私の年齢には有効な技が、剛柔流にあると気付かされた。もう少し、剛柔流の手法を勉強と稽古をして、若手OBとの組手で試してみたいと思った。今年からマレーシアには2～3回、モーリシャスには1回程度空手指導を予定している

拳武館の道場は嘉手納基地のすぐ横にある。アメリカ軍の家族らしい人に出会う。店の経営者も日本人ではない店もある。TATTOO（入れ墨）をする店もあり、看板も英語。車販店、吉野家の支払いもUS\$の表示がある。まさにアメリカの街という雰囲気。



アメリカの街の様



TATTOO（入れ墨）をする店



両替屋が街にもある



販売価格は\$表示だけだった



吉野家の支払いは\$ 又は円

沖縄の那覇市内を歩いていて、ステーキ屋、焼肉屋が驚くほど沢山並んでいる。これは沖縄統治時代から、アメリカ兵士向けにアメリカ、オーストラリアから廉価で、牛肉が輸入された慣習によるものだというものらしい。



新型コロナウイルスの影響で、国際通りの人通りは少ない。帰りの那覇空港も、旅行シーズンにも拘らず、閑散としている。フライトの変更をしても「コロナウイルスですか」と言って、スムーズに対応頂いた。



那覇1番の繁華街、国際通りも人が極端に少ない。空港もガラガラ

1月にマレーシアに行った時に、マレーシア大使館からマレーシアの大学で、空手のデモンストレーションの要請を受けた。実施日を聞くと3月1日で、今回の沖縄遠征と重なっていた。日本人会空手部の有志で、プトラジャ（マレーシアの首都）にある大学で、空手のデモを実施した報告書もらった。

